

## はじめに

この本は大学入学共通テストで「歴史総合, 日本史探究」を選択し, 受験する諸君のための問題集です。

使用する際の便宜を考慮し, 全体としてできるだけ本物の問題用紙の形式に近づけ, 見やすく簡潔な構成にしています。出題傾向もしっかり押さえてあるので無駄のない学習ができます。問題演習を通じて苦手な分野を見つけだし, そこを重点的に学習するようにしてください。その勉強の過程で合格までの“見通し”が立ってくることでしょう。問題集での学習のメリットは正に「解くこと」にあり, 問題を見て, 考え, 手を動かすことにより, 頭脳に新鮮な刺激を与え, 記憶を定着しやすくするのです。

この問題集は使うタイミングに合わせて, 使い方を様々に変化させることが可能です。教科書と並行しながら, じっくりと完成を目指すもよし, 直前の弱点チェックに短期集中で使用するもよし。この場合, 一つの章をまとめて解いてみるのが効果的です。また模擬試験のように時間を決めて取り組む方法も有効です。掲載した問題はオリジナル問題を中心として, 一部大学入学共通テストや試行テストの問題を含んでいます。いずれにしても適度な分量なので, 無理なく学習を完成させることができます。繰り返し出てくる項目は, 特に大学入学共通テストで頻出する重要な分野です。

諸君が本書の学習により一日も早く合格できる実力を身につけ, 首尾良く栄冠を勝ち取られることを願ってやみません。健闘を祈ります。

編 者

## ●本書の特長と利用法

### 本書の特長

- ①本書の大きさは大学入学共通テストの問題と同じB5判で、本番さながらの臨場感を再現できるように配慮しました。
- ②全体の章立ては「原始・古代」「中世」「近世」「近代」「現代」「テーマ史」「歴史総合」の順とし、時代区分ごとに効率的な学習ができるようにしてあります。
- ③各章とも大学入学共通テスト本番の出題内容に焦点を合わせた問題を中心に編集しました。これらの問題に取り組むことで、着実に大学入学共通テストに対応できる力を養成することができるようにしてあります。
- ④解説はできるだけわかりやすくし、自学自習ができるようにしました。

### 本書の利用法

- ①大問1題あたり10分から15分を目標として問題文を読み、設問に解答する  
↓
- ②解答一覧表で答え合わせをする  
↓
- ③間違った箇所を中心に問題と解説をチェックする  
↓
- ④全体を通して解説を読みながら、問題文や設問・選択肢を見直す

※各章単位でまとめて学習することにより時代区分ごとの集中的な学習ができます。また、各章の大問を一問ずつ、時代順に解けば大学入学共通テストの流れに沿った模試形式の学習もできます。

※解説ではまず〈出題のねらい〉をチェックし、ここで「その大問をなぜ出題したのか、どういうところに気をつけてほしいか」などについて理解してください。そしてそのあと正解を確認した上で〈解説〉を熟読し、正解に至る道筋をしっかりと学びます。

#### 《参考》大学入学共通テスト「歴史総合、日本史探究」の問題構成

- ①試験時間は60分。大問6題。第1問は歴史総合、第2問は全時代にわたるテーマ史、第3問～第6問はそれぞれ原始・古代、中世、近世、近代・現代を中心に出题されています。また分野別では政治、外交、社会経済、文化の分けととなっています。
- ②設問形式としては、大問ごとにリード文や会話文、図版・写真を使ったパネルなどを示し、それらに関連する設問に答える形式となっています。そして短文の正誤問題を中心として、地図や図版の組合せ問題、年代順を問う問題などが多く出題されています。
- ③各設問は高校教科書のレベルに準拠し、「難問・奇問」は出題されていません。
- ④地図・写真・図版などを使った問題や史料・グラフ・一覧表を読み取る問題のほか、複数の資料をもとに考察する問題も出題されています。

## ●目次

<b>第1章</b>	<b>原始・古代 (大問6題, 設問数31)</b>	
第1問	日本と周辺地域との関係とその影響	6
第2問	邪馬台国と「日本」国号の成立	10
第3問	原始・古代の土地利用・税制	16
第4問	律令体制の変容とその後の政治	21
第5問	古代の官道と付随する諸施設	25
第6問	古代の政治を主導した人物	29
<b>第2章</b>	<b>中世 (大問6題, 設問数33)</b>	
第1問	中世における「外からの波」	38
第2問	中世の人々の暮らしと考え方	42
第3問	中世の政治・社会・文化	47
第4問	中世の政治・外交・文化	51
第5問	中世の武士・武家政権	58
第6問	中世後期～近世初期の政治・外交・社会・文化	62
<b>第3章</b>	<b>近世 (大問6題, 設問数32)</b>	
第1問	近世の資料からみる政治・外交・社会・文化	66
第2問	江戸時代の自然と人との関係	71
第3問	江戸時代の政治・社会・文化	75
第4問	近世の政治・社会・経済	79
第5問	江戸時代における人々の結びつき	83
第6問	江戸時代の政治・外交・経済・文化	88
<b>第4章</b>	<b>近代 (大問6題, 設問数48)</b>	
第1問	近代の政治・社会経済	94
第2問	永井荷風を通してみる近代の政治・社会経済・文化	102
第3問	徳富蘇峰を通してみる近代の政治・社会経済・外交・文化	108
第4問	人材育成・教育をテーマとした近代の政治・社会経済・文化	113
第5問	近代の政治・社会経済・外交	118
第6問	財政・金融政策を中心とした近代の政治・経済・社会	124
<b>第5章</b>	<b>現代 (大問6題, 設問数24)</b>	
第1問	鉄道をテーマとした現代の政治・社会経済	132
第2問	戦後の復興と政治・社会	136
第3問	吉田茂を通してみる現代の政治・社会経済・外交	139
第4問	戦後の教育をテーマとした現代の政治・社会経済	142
第5問	55年体制をテーマとした戦後の政治・社会	144
第6問	平成を中心とした戦後の政治史	146
<b>第6章</b>	<b>テーマ史 (大問6題, 設問数35)</b>	
第1問	古代から中世の国際交流	150
第2問	為政者と文化	156
第3問	日本人と病の関わり	162
第4問	女性をテーマとした原始～近代の政治・外交・社会・文化	172
第5問	芸能の歴史	178
第6問	人間の諸活動と環境の問題	184
<b>第7章</b>	<b>歴史総合 (大問3題, 設問数25)</b>	
第1問	近代国家の政治機構	194
第2問	万国博覧会の歴史	203
第3問	騒擾事件の歴史	214

**第1問** 古代史の授業がひととおり終わったところで、日本史の先生がクラスの二つのグループに対して、「日本と周辺地域との関係とその影響」を話し合い、その結果をレポートにまとめるように指示をした。A班は「原始から奈良時代」、B班は「平安時代」を担当し、それぞれ授業で発表した。それぞれの発表要旨を読み、後の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

#### A班の発表趣旨

古代日本の文化形成の過程で、① 中国大陸の優れた文化をもたらした渡来人の功績が重要である。例えば『宋書』には、478年に倭王武が中国の皇帝に上表文を奉っているが、その文章は漢文で記されており、渡来人の文筆能力が外交面でも大いに生かされたことがうかがえる。

その後の② 推古朝の諸改革や乙巳の変後の政治においても、中国から帰国した留学生・留学僧らとともに渡来人やその子孫たちが国政の発展に大きく貢献した。

古代史上最大の内戦とされる壬申の乱を経て、7世紀の後半には中央集権化が一段と進んだ。689年、その存在が確実視される飛鳥浄御原令が施行され、さらに701年に③ 大宝律令が制定されたことによって、日本では律令国家の体裁が整備されることになった。

**問1** 下線部③に関して、4世紀から6世紀にかけて渡来してきた人々について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

1
---

- ① 百濟から渡来した五經博士によって仏教が伝えられた。
- ② 高句麗の僧曇徴によって、絵の具や紙、墨の製法が伝えられた。
- ③ 渡来してきた人々の技術によって、朝鮮式山城が造られた。
- ④ 渡来人の中には、機織や養蚕の技術を伝える人々もいた。

問2 下線部⑥に関連して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 最初の遣隋使となった犬上御田歊は、裴世清を伴って帰国した。
- ② 厩戸王(聖徳太子)は、隋の官位制度を参考に八色の姓を制定した。
- ③ 孝徳天皇が派遣した百済救援軍は、白村江の戦いで敗退した。
- ④ 天智天皇のもとで、初の全国的な戸籍である庚午年籍が作成された。

問3 下線部㉔に関連して、日本の律令制に関して述べた次の文あ・いについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 3

- あ 太政官のもとには、戸籍の作成にあたる中務省などが置かれた。  
い 位階を持つ官人たちには、調・庸などの負担が免除された。

- ① あ—正    い—正                      ② あ—正    い—誤
- ③ あ—誤    い—正                      ④ あ—誤    い—誤

## B 班の発表趣旨

平安時代の初期には、㉔桓武天皇やその子の嵯峨天皇によって、行き詰まりをみせていた律令政治の刷新がはかられた。奈良時代に比べて入唐する使節の数は減少したものの、中国文化への関心はさらに高まっていった。その半面、新羅との関係悪化や唐の衰退が進むなかで、航海の危険も加わり9世紀の終わりに遣唐使は断絶した。

中国との正式な国交は途絶えたものの、中国の商船の来航などを通じて貿易や人々の往来による民間の交流は活発に続けられた。文化面では、仮名文字の発明や中国文化の消化のうえに日本の風土や日本人の心情に合った独自の文化が生まれ、いわゆる㉔国風文化が栄えた。

国風文化は藤原文化とも称されるように、10世紀以降の宮廷社会で藤原北家が摂関政治の黄金時代を築き上げていくなかの文化であった。一方で、㉔武士の台頭にみられるように、地方政治の様々な問題点が浮き彫りとなっていった。

問4 下線部㉔に関連して、桓武天皇と嵯峨天皇の時代の出来事に関して述べた次の文あ～えについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

4

- あ 桓武天皇は、勘解由使を置いて国司交替の際の監督を強化させた。
- い 桓武天皇は、健児を任命して公民の負担となっていた軍団を全廃した。
- う 嵯峨天皇は、蔵人頭を置いて機密事項の管理などにあたらせた。
- え 嵯峨天皇は、初の格式である貞観格式を編纂させた。

- ① あ・う      ② あ・え      ③ い・う      ④ い・え

問5 下線部㉔に関連して、国風文化期の出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 空海が開いた綜芸種智院は、庶民にも教育の機会を与えた。
- ② 初の勅撰和歌集となる『古今和歌集』が編纂された。
- ③ 浄土教の流行をうけて源信が『往生要集』を著した。
- ④ 絵画では、唐絵のほか、日本の風景などを題材とした大和絵が描かれた。

問6 下線部㉕に関連して、10～11世紀の中央および地方の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

- Ⅰ 藤原頼通は阿弥陀堂建築の代表とされる平等院鳳凰堂を建てた。
- Ⅱ 藤原隆家は九州北部を襲った刀伊を、在地勢力の協力を得て撃退した。
- Ⅲ 皇(本)朝十二銭の最後となる乾元大宝が鑄造された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問題番号 (配点)	設問 (配点)	解答番号	正解	自己採欄
第1問 (18)	1 (3)	1	④	
	2 (3)	2	④	
	3 (3)	3	③	
	4 (3)	4	①	
	5 (3)	5	①	
	6 (3)	6	⑥	
計				点
第2問 (12)	1 (3)	7	④	
	2 (3)	8	①	
	3 (3)	9	①	
	4 (3)	10	②	
計				点
第3問 (15)	1 (3)	11	②	
	2 (3)	12	③	
	3 (3)	13	②	
	4 (3)	14	①	
	5 (3)	15	④	
計				点

(注)\*は、両方正解の場合のみ点を与える。

第1問

〈出題分野〉

原始・古代の政治・外交・社会・文化

〈出題のねらい〉

Aは、渡来人や留学生らの活動を中心に律令国家の成立過程を確認し、Bで平安時代の律令国家の展開と文化の関わりを出題した。

〈解説〉

問1 1 正解④

④ 正しい。弓月君の子孫とされる秦氏は、機織や養蚕の技術を伝えた。また、ヤマト政権は、新しい知識・技術を伝えた渡来人たちを、伴造や伴に編成した。

① 誤り。五経博士によって伝えられたのは儒教である。仏教はやや遅れて6世紀の半ばの欽明天皇の時代に百済の聖明王から伝えられた。

② 誤り。選択肢は正しい記述であるが、時期が誤っている。曇徴どんちゆうは7世紀の初めに渡来した高句麗の僧で、

問題番号 (配点)	設問 (配点)	解答番号	正解	自己採欄
第4問 (15)	1 (3)	16	①	
	2 (3)	17	③	
	3 (3)	18	②	
	4 (3)	19	②	
	5 (3)	20	①	
計				点
第5問 (15)	1 (3)	21	④	
	2 (3)	22	①	
	3 (3)*	23	①	
	3 (3)*	24・25	④・⑤	
	4 (3)	26	⑤	
計				点
第6問 (15)	1 (3)	27	②	
	2 (3)	28	④	
	3 (3)	29	①	
	4 (3)	30	②	
	5 (3)	31	⑥	
計				点

飛鳥文化の時期である。

③ 誤り。これも時期が誤っている。朝鮮式山城が造られたのは、7世紀後半である。663年に白村江はくそんこうの戦いで敗れると、唐・新羅軍の来襲を危惧した朝廷は、中大兄皇子を中心に、大宰府を防衛するために水城を築いた。さらに、九州に防人や烽とよひ(のろしのこと)をおき、百済から亡命した人々の技術をもちいて、西日本各地に朝鮮式山城を築くなど、国防の強化をはかった。

問2 2 正解④

④ 正しい。646年正月元旦に発せられた改新の詔では、「…初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。…」とあるが、天智天皇の670年になってようやく初の全国的な戸籍である庚午年籍とよひが作成された。律令制下では、戸籍は30年間保存することになったが、庚午年籍は根本台帳として永久保存が義務づけられた。

① 誤り。犬上御田歊は、第4回遣隋使として派遣されたが、隋末の混乱状態の中で、留学生らを連れ帰る任

務は果たせなかった。しかし、この経験がかわれて630年の第1回遣唐使にも任命された。

② 誤り。推古朝の603年に制定された初の官位制度とされるのが冠位十二階である。八色の姓は684年に天武天皇が制定したものである。

③ 誤り。乙巳の変後即位した孝徳天皇は、654年に没している。白村江の戦いは663年の出来事で、齊明天皇の没後、称制(皇后や皇太子が即位せずに天皇の任務を代行すること)していた中大兄皇子の政権下で発生した。

### 問3 3 正解③

あ 誤り。律令制では、一般政務にあたる太政官の下に八省が置かれたが、戸籍や租税を担当したのは民部省である。中務省は天皇に近侍して詔勅の作成などにあたった。

い 正しい。調・庸などは、正丁などの成人男子が負担する人頭税で、位階を持つ官人や僧侶などは免除された。

### 問4 4 正解①

あ 正しい。国司の交替の際には、前任者と後任の国司との間で、解由状という証明書の受け渡しによって引継ぎがおこなわれたが、両者間で不正やトラブルが発生することが多かった。桓武天皇は中央に勸解由使を設置して、国司交替の際の事務引継ぎを厳しく監督させた。

う 正しい。嵯峨天皇は、810年の葉子の変に際し、機密事項の管理などにあたらせる蔵人頭を置き、藤原北家の藤原冬嗣らを任命した。あの勸解由使と並んで頼出する令外官として確認しておこう。

い 誤り。「軍団を全廃した」という部分が誤り。桓武天皇の時代には、蝦夷との戦いがおこなわれていたように、東北や九州地方では軍団は維持されていた。その他の地域については、農民の負担軽減という面からも郡司の子弟らによる健児の採用がはかられた。

え 誤り。嵯峨天皇の時代に完成した初の格式は弘仁格式である。その後編纂された清和天皇の貞観格式、醍醐天皇の延喜格式を含めて三代格式と呼び、この中の格だけを分類整理したものが『類聚三代格』である。

### 問5 5 正解①

① 誤り。空海や綜芸種智院に関する記述に誤りはないが、空海が活躍したのは平安初期で、いわゆる弘仁・貞観文化の時期である。文化史の正誤判定問題では、こうした時期をずらして誤文をつくることが多いので注意すること。

② 正しい。国風文化といえは、仮名文字の普及が最大の焦点となるので、醍醐天皇の勅撰の『古今和歌集』や仮名書きの序文を書いた紀貫之などを押さえておこ

う。

③ 正しい。この時期、宗教面で注目されるのは浄土教の発達で、市聖と呼ばれた空也や『往生要集』を著した源信は重要である

④ 正しい。国風化の波は絵画の世界にもあらわれた。前代までは中国の風景などを画題とした唐絵が主流であったが、日本の風景などを描く大和絵が流行した。

### 問6 6 正解⑥

Ⅲ 乾元大宝が鑄造されたのは、958年で、村上天皇のいわゆる天曆の治の時期である。これによって和同開珎以来鑄造されてきた皇(本)朝十二銭が途絶えることになった。

Ⅱ 1019年、女真人(朝鮮では彼らを刀伊と呼んだ)が九州北部を襲った事件は刀伊の入寇と呼ばれ、これを藤原隆家が在地勢力の協力を得て撃退した。この事件は、藤原道長の娘である威子が後一条天皇の中宮となり、道長がかの有名な「望月の歌」を詠んだ翌年に発生した。撰閣政治の全盛期における地方の出来事として記憶しておくとうい。

Ⅰ 末法思想では、1052(永承7)年から末法の時代が始まるとされていた。藤原頼通は宇治の別荘を寺とし、翌1053年には阿弥陀堂である鳳凰堂を完成させた(第2問・問4の写真③)。

したがって、Ⅲ→Ⅱ→Ⅰの順となる。

## 第2問

### <出題分野>

古代の政治・外交・文化

### <出題のねらい>

「魏志」倭人伝などの史料や資料を用いて、「日本」の成り立ちを考察する設問を主とした問題である。

### <解説>

#### 問1 7 正解④

4世紀には、大和地方を中心とする政治連合であるヤマト政権が勢力を強め、関東地方から九州中部にまで政治的統合を進めたことが、前方後円墳の分布などから分かる。したがって、④が正しい。なお、①の五経博士は6世紀前半に百済が倭国に派遣した儒教を講じる学者であり、誤り。②ヤマト政権は近畿地方が中心なので誤り。③の仏教も6世紀に伝来したので誤りである。

#### 問2 8 正解①

あ 資料における下戸と大人との関係を読み取れば、下戸は邪馬台国の身分的に低い被支配民であり、Wが正しいと判断できるはず。また、下戸は邪馬台国の敵国の住民ではないことからXは誤りと判断できよう。

い 資料から、大夫難升米は邪馬台国の女王卑弥呼か